

あなたの**成仏**のために

あなたが今、さまざまな願いを成就し、揺るぎない幸せの境界、成仏をかなえるためには、大御本尊への信心を持つことです。それにはまず、日蓮正宗寺院に足を運ぶことです。そして僧侶や法華講の人の話を聞いてください。

そこからあなたの本当に幸せな人生が始まるのです！



奉安堂とツツジ

戸田城聖創価学会 第2代会長指導より

「日蓮大聖人の真実のお教えは、^{どくいっ}独一本門
といい、^{もんでいひちん}文底秘沈というも、^{いちえんお}みな一閻浮
^{だいそうよ}提総与の三大秘法の大御本尊を根本とし
たお教えでなくてはならない。この教え
は、今日末法においては、富士大石寺に
こそあれ、ほかにはないのである」

(戸田城聖全集3-83頁)



大日蓮出版

[1] H22.10

日蓮大聖人の仏法は、
戒壇の大御本尊が
根本です！



何のための**信仰**か

創価学会員である皆さんは、何のために信仰しているのですか？

「毎日を心安らかに過ごしたい」「一家和楽の幸せな人生を送りたい」等の願いを成就するため、信仰をされているのではないのでしょうか。

そうであれば、現在皆さんが行っている新聞啓蒙や集票活動、財務などの学会活動によって、その願いどおりの人生になっているのでしょうか？

むしろ「今のままで本当に良いのだろうか」と、疑問や不安を懐いているのではありませんか？

大御本尊は信仰の根源

日蓮大聖人は、

「仏は四十余年、天台大師は三十余年、伝教大師は二十余年に、出世の本懐を遂げ給ふ（中略）余は二十七年なり」（御書1396鈔）

と仰せられ、出世の本懐として、本門戒壇の大御本尊を顕されました。

この大御本尊について、日寛上人は『観心本尊抄文段』に、

「弘安二年の本門戒壇の御本尊は、究竟の中の究竟、本懐の中の本懐なり。既に是れ三大秘法の随一なり」（御書文段197鈔）

と仰せられています。この大御本尊は、第二祖日興上人以来、代々の御法主上人に相伝され、日蓮正宗総本山大石寺に厳護されています。

この大御本尊こそ信仰の根源であり、大御本尊への信心によってのみ、成仏がかなえられるのです。したがって、戸田城聖創価学会第2代会長は「学会の使命は大御本尊への車引き」と述べ、登山会を開始したのです。

謗法の創価学会にいる限り、祈りは通じない！

現在、創価学会は、この大御本尊への信仰の道を閉ざし、御法主上人を誹謗し、大石寺へ参詣することもできない謗法団体となってしまいました。したがって、あなたが「自分は大御本尊を信じている」と言っても、謗法の学会に在籍する限り、あなたの祈りは大御本尊に通じないのです。